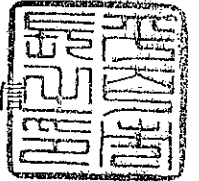




19平建第41号  
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

平戸市長 白 濱



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け 国道企第114号をもって依頼のあったことについて、別紙のとおり提出します。

## ○今後の道路政策や道路の整備・管理について

### 1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

・人や物の流れを効率よく安全にしかもより快適に利用するためにも、道路整備は欠かすことのできない社会資本です。道路づくりは必要ないとの批判もありますが、それぞれ道路に対する認識不足そのものです。都市部においてもこれ以上道路はいらないというものではなく、交通渋滞の解消や排ガス規制など、都市なりの対策が必要と考えます。

地方といわれる地域では、高速道路や国道の整備を一刻も早く待ち望んでいる地域があると同時に、平成の合併による地域間の交流のための距離の短縮は必要不可欠であります。

現在進められている、西九州自動車道などは県北地域の振興のみならず、そこに住む人々の大切な生命財産を守る大動脈であります。平戸市内においても、国道383号は一次改良済みとなっておりますが、現在車輛の大型化に伴う幅員狭小による事故が発生しています。また歩道未整備区間、基準を満たしていない曲線部が多く点在しています。

道路整備は多くの自治体が望む最も基本的なインフラ整備です。バリアフリー化、電線類の地中化など道路整備のニーズは多方面にわたっています。

道路利用者が揮発油税などの高い税率にあえて甘んじてきたのは、道路特定財源以外に流用することなく、目的税としてその役割を果たしてきたからです。受益者負担という制度趣旨に則り、道路整備を協力を推進するため、道路特定財源はすべて道路整備に充当することに基つき、一般財源化には今後とも反対してまいります。

### 2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

#### ・幹線道路と生活道路の位置づけ

市道は日常生活を支える上で重要な社会資本であり、国・県道を相互に連絡したり地域におけるコミュニティ相互を結びつけ、居住空間を構成すると同時に、公民館、学校、病院等の公共公益等の機能を効率的に発揮させるために欠くことのできないものです。

「新しいまちづくり計画」の基本目標である（観光・交流）（産業振興）（保険・医療・福祉）（自然環境・生活基盤）（教育・文化）（協働のまちづくり）の6項目を予算の柱として、既存事業と新規事業との調整を図り、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に勤めていきます。

市道の延長は、合併により路線数は1,893路線、延長は903kmに及んでいます。整備状況は幅員3.5m未満の未改良区間は499km、55%にも上り緊急車輛の通行にも支障をきたしています。このため地区住民の道路整備に対する要請は、極めて強いものがあります。しかし、このような膨大な延長を抱える道路の整備を一律に進めることは財政的に困難であり、効率的でないため幹線道路網の一環を形成する重要な道路を重点的に整備推進するこ

ととしています。そのためにも、地域、地形の状況、その他の特別な理由によりやむを得ない場合、道路改良や歩道など、地方にあった幅員として改良できるよう柔軟な採択基準のお願いをしたい。

### 3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

#### ・街なみ環境整備事業

平戸市の中心市街地は城下町時代の歴史を持ち、古くから商店が立ち並んでおり、歴史、産業、自然、文化といった数多くの魅力あふれる資源に触れることができます。その市街地の「歴史を活かし」、商店街全体を「歩いて楽しいまち」として整備・演出し、平戸市民、そして観光客が歩きたくなる、再び訪れたいまちとなるよう「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」をめざし街並み環境整備事業を行っています。

#### ・日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）の取り組み

政府の観光振興策の一貫として最近注目を集めている新しい道路行政の手法であるシーニック・バイウェイは従来、単なる地点間輸送に過ぎなかった道路そのものを観光資源として活用し、マイカーもしくはバスツアー旅行者を呼び込もうという戦略です。ルートのうち平戸から佐世保にかけては西海国立公園に沈む夕日を見ることができ、西海市から長崎市にかけての国道202号では西側に開けた空と海に沈む夕日を見ることができます。ルート沿いには多くの教会があり、平戸にも世界文化遺産暫定リスト入りしている教会があります。平戸市にはこのようなキリシタン文化を色濃く残す場所を巡る「平戸キリシタン紀行」として観光商品化されています。平戸のコースは主に国道及び県道であり、道の駅も2箇所があり、「とるっば」に適切な箇所も数多く点在します。このコースをシーニックバイウェイとキリシタン紀行ルートとして全国にアピールしていきます。